

普及指導員調査研究報告書

課題名：集落営農法人の人材確保・育成の検討

農林総合技術センター 技術指導室 担当者氏名：白石 一剛

<活動事例の要旨>

1 普及活動の課題・目標

本県の集落営農法人は218法人（報告書作成時）設立されているが、構成員の高齢化や米価の下落等により、経営体質の強化並びに人材の確保・育成が課題となっている。

このため、県内集落営農法人の実態及び課題を把握するとともに、収益性向上のためのシミュレーションを行うための経営指標の基礎データを作成する。

2 普及活動の内容

(1) アンケート調査による実態・意向把握

関係機関と連携し、7～8月に調査を実施し143法人から回答を得た。

(2) 集落営農法人経営実態の把握と米価の影響

平成25年度総会資料の収集（135法人）し、決算データを経営分析システムに入力し実態を把握するとともに、米価の下落の影響を予測した。

なお、平成26年度データは総会終了後に収集し次年度分析を行う。

(3) 経営指標基礎データの見直し

経営改善を行うためには、体質強化を図るためのシミュレーションが必要であり、平成21年度に策定した県経営指標データの見直しを行った。

3 普及活動の成果

(1) アンケート調査結果

ア 回答者の8割が今後新たな人材が必要であり、うち6割の法人が1～2年以内に必要と回答され喫緊の課題であることを確認した。

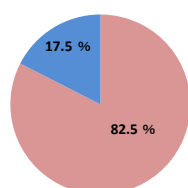
イ 人材確保については、集落営農法人の設立目的から地区内の人材確保を優先しているが、法人間連携での対策についても意向は高い。

ウ 人材確保の課題は、周年作業がない、経営規模が小さい、給与確保への不安が共通している課題である。

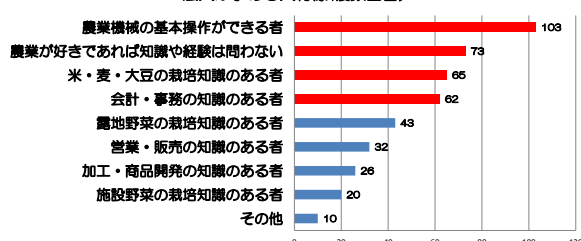
エ このため、経営の実態や法人の理想的な姿（経営理念）を明確と優先的な戦略を組合員で共有し、近隣法人との調整を行うことが重要である。現地における中期計画策定（BSC）や法人ライフプランの策定について支援した。

今後の新たな人材の必要性

■ 必要である ■ 必要でない

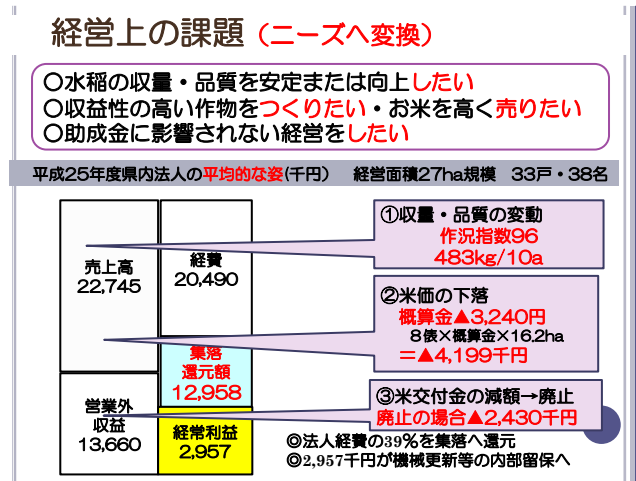


法人が求める人材像(複数回答)



(2) 経営実態と米価の影響

- ア 経営分析システムのデータ入力とシステム利用研修会を行った。
- イ 本県の集落営農法人の平均像（27ha）は、水稻・麦・大豆が中心のため総収入の38%が営業外収入であり、また法人経費の39%を地代・労務費等で集落に還元している。
- ウ 本年度の米を巡る情勢変化は、収量・品質の低下（作況指数96）、概算金の下落、米交付金の減額から廃止である。平均像（水稻作付比率60%で資産）での経営の影響は、約6,500千円の減収が予測され、応急措置的な対応として利益配分の見直し、収益性の高い作物の転換への検討が必要である。
- エ 集落営農法人の経営継承のためには、計画的な人材確保、機械更新計画等の中長期ビジョンの作成が一層求められる。



(3) 経営指標基礎データの見直し

- ア 集落営農法人の人材確保や新規就農の定着を一体的に取り組み、経営計画の検討を容易に進めるため、将来的にシュミレーションソフト Z-BFM での提供をめざし県指標の見直しを行った。
- イ 現時点では、関係担当者と連携し、11品目（18プロセス）を見直している。プロセスの様式は Z-BFM の根基となるとともに、単独品目のシミュレーションが可能となるよう指標の様式を改善した。

10aあたり経営指標				経営シュミレーション				
経営類型	品種	作型	備考	経営類型	品種	作型	面積(a)	
水稲	ヒノヒカリ	6月上旬定植		水稲	ヒノヒカリ	6月上旬定植	700	
10aあたり経営指標				経営シュミレーション				
項目		金額	算出根拠等	項目		10aあたり	面積当たり	算出根拠等
主産物		104,860	算出根拠1(ア)	主産物		104,860	7,340,200	算出根拠1(ア)
副産物等(助成金)		7,500		副産物等		7,500	525,000	
A 合計		112,360		A 合計		112,360	7,865,200	
種 子	費	2,436	算出根拠1(エ)	種 子	費	2,436	170,520	算出根拠1(エ)
肥 料	費	12,350	算出根拠1(イ)	肥 料	費	12,350	864,500	算出根拠1(イ)
農 薬	費	8,270	算出根拠1(ウ)	農 薬	費	8,270	578,931	算出根拠1(ウ)
光 熱	費	1,680	算出根拠1(エ)	光 熱	費	1,680	117,599	算出根拠1(エ)
燃料費・小農具費	費	4,806	算出根拠1(エ)	燃料費・小農具費	費	4,806	336,392	算出根拠1(エ)
土地改良費・水利費	費	16,170	仮算出額(483kg×23円)	土地改良費・水利費	費	0	1,121,900	
減価償却費	費	0	※※	減価償却費	費	0	421,600	※※
農具費	費	1,720	仮算出額	農具費	費	0	0	
建物施設修繕費	費	106	7ha作付の場合の10aあたり経費	建物施設修繕費	費	106	7,440	
機械具修繕費	費	3,563	7ha作付の場合の10aあたり経費	機械具修繕費	費	3,563	248,389	
① 小計		51,101		① 小計		49,381	3,878,271	
建物・施設	費	443	7ha作付の場合の10aあたり経費	建物・施設	費	443	31,000	
大農具	費	10,546	7ha作付の場合の10aあたり経費	大農具	費	10,546	738,254	
大作物	費	0		大作物	費	0	0	
大家	費	0		大家	費	0	0	
② 小計		10,989		② 小計		10,989	769,253	
③ 合計(①+②)		62,090		③ 合計(①+②)		60,370	4,647,525	
包袋費	費	1,304		包袋費	費	1,304	91,280	
運賃	費	0		運賃	費	0	0	
手数料	費	0		手数料	費	0	0	
④ 小計		1,304		④ 小計		1,304	91,280	
支払額		9,500	8500円/10a	支払額		0	0	
支払額		2,487	7ha作付の場合の10aあたり経費	支払額		9,500	665,000	
農薬費	費	2,888	一般管理費	農薬費	費	2,487	174,062	
農薬費	費	14,875		農薬費	費	2,888	202,160	
⑤ 小計		78,269		⑤ 小計		14,875	1,041,242	
B 経費合計(③+④+⑤)		34,091		B 経費合計(③+④+⑤)		76,549	5,780,047	
農業所得(A-B)		30,3		農業所得(A-B)		35,811	2,085,153	
所得率(%)		30.3		所得率(%)		31.9	26.5	

(ア) 粗収益の算出							
月	販売量	単価	粗収益(円)	月	販売量	単価	粗収益(円)
1			0	7			0
2			0	8			0
3			0	9			0
4			0	10			0
5			0	11			0
6			0	12			0
一割計上	490	214	104,860	合計	490		104,860

(イ) 肥料費の計算								
肥料名	使用倍率	使用数量	単位	単価の算出		肥料費		
				内容量	単位	販売価格(円)	単価	(円/10a)
ミネラルGF		200	kg	200	kg	4,730	23.65	4,730
セラコートR622		50	kg	20	kg	3,048	152.4	7,620
			kg		kg		0	0
			kg		kg		0	0
			kg		kg		0	0
			kg		kg		0	0
			kg		kg		0	0
肥料費合計(円/10a)								12,350

(ウ) 農薬費の計算									
農薬名	農薬資材量の算出				単価の算出		農薬費(円/10a)		
	散布倍率	散布量(㎡)	資材量	単位	内容量	単位		販売価格(円)	単価
タカレン粉剤			0.1	kg	1	1	1,297	1,297.0	130
デュニール粉剤			0.4	kg	1	3	898	299.3	120
イチバン乳剤			50	ml	1	300	1,202	4.0	200
嵐ダントツ箱粒剤			1	kg	1	1	3,953	3,953.0	3,953
サラブレッドRXフロアブル			500	ml	1	500	2,620	5.2	2,620
アプロード水和剤			83	g	0	500	3,040	6.1	0
トレボン乳剤			83	ml	1	500	4,730	9.5	785
スタークル顆粒水和剤			50	ml	1	500	4,625	9.3	463
			0	ml				0.0	0
			0	g				0.0	0
			0	g				0.0	0
			0	ml				0.0	0
			0	ml				0.0	0
			0	ml				0.0	0
			0	g				0.0	0
			0	g				0.0	0
			0	ml				0.0	0
			0	ml				0.0	0
			0	g				0.0	0
			0	g				0.0	0
農薬薬剤費計(円/10a)								8,270	

収量構成要素					
収量(kg/10a) =	栽培密度(株/㎡) ×	平均穂数(粒/㎡) ×	1穂の重さ ×	実熟歩合(%)	千粒重(g)
491.6	18	18	85	85.0%	21

(エ) 播種費・燃料費・諸材料費等							
名称	数量	単位	単価	単位	使用年数	金額	備考
種子	4	kg	609	円/kg	1	2,436	
						0	
種苗費計							2,436
ガソリン	5.7	L	160	円/L	1	912	
軽油	8.6	L	89.3	円/L	1	768	
重油						0	
灯油						0	
燃料費計							1,680
育苗箱	20	箱	200	円/箱	5	800	
水稻増土	100	kg	38.7	円/kg	1	3,870	
太陽シート	3	m	118.8	円/m	3	119	
黒有孔マルチ	3	m	16.8	円/m	3	17	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
諸材料費・小農具費計							4,806
出荷袋	16.3	袋	80	円/袋	1	1,304	
運賃		kg		円/kg	1	0	
手数料		円		%	1	0	
販売経費計							1,304

4 今後の普及活動に向けて

- ア 平成26年度の経営実績収集と法人経営の影響調査及び早急に経営改善が必要な法人のスクリーニングを実施し経営改善の支援を行う。
- イ 集落営農法人の人材確保、法人間連携の取組について普及指導計画プロジェクト課題解決に向けた現場との連携強化を図る。
- ウ 経営シュミレーションソフトの構築は、試験研究成果技術、低コストマニュアルの改正等との連携も視野に今後、データベース化を図る。